

令和6年度 指定管理業務 実績評価シート

作成年月日 令和7年6月24日

部課名 観光部 文化振興課

施設名	弘前市民会館
施設の設置目的	市民の文化向上と福祉の増進を図るため、広く市民に対し優れた舞台芸術を鑑賞する文化施設、また、市民自ら参加する文化活動の場、各種大会・研修会等の場として設置したものである。
所在地	弘前市下白銀町1-6
指定管理者名	ひろさきトールツリーグループ
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
実地調査年月日	1回目 令和 6年 9月25日 2回目 令和 7年 2月4日

【評価の基準】

A	協定書・募集要項・基準書の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの（適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの）
B	協定書・募集要項・基準書の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの（軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの）
C	協定書・募集要項・基準書の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書・募集要項・基準書の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する

○市による評価の内容

【区分ー1】施設の運営の実施状況

評価項目	評価の視点	評価	評価内容・特記事項
総合的事項	施設の設置目的を理解し、市が示した方針に沿った管理運営となっているか	B	
法令等の遵守	管理に当たっては、基準書等のほか、関係する法令等に基づいた管理がされるよう、法令等を参照しているか	B	
平等利用	公の施設であることを常に念頭において、平等・公平な管理を行うこととし、特定の団体等に有利に、あるいは不利になることのないようにしているか	B	
基本業務	利用許可(利用不許可等)は適切に行われているか	B	
	管理上市長が必要であると認める業務は適切に実施されているか	B	弘前市民会館用の防犯・防災対策マニュアルを策定するとともに、代表団体により策定した個人情報保護に関する規定を利用し、業務を行っている。
付随業務	利用料の徴収、収納管理及び減免等に関するマニュアルを備え付け、適正に行われているか	B	全員にマニュアルを配布し、マニュアルに沿って適切に行われている
職員配置・研修	職員の配置、勤務形態は適切になされているか	B	
	管理業務の履行について、当該業務上の管理を司る業務主任者を定め、その氏名その他必要な事項を書面により市に通知しているか 等	B	
	職員研修が適切に実施されているか	B	
開館時間・休館日	開館時間や休館日等は遵守されているか	B	
職員の接遇	職員の接遇態度は良好か	A	アンケートから良好な接客態度であることがわかる。
利用者ニーズの把握等	利用者のサービスの向上を図るために、アンケート調査その他の方法により利用者の意見・要望を把握し、その結果及び業務改善の状況について市に報告しているか	B	
	より良い管理を目指して、日頃から利用者の要望又は評価を把握するよう努めるとともに、それらの結果及び甲からの要望等を考慮して管理業務の内容及び手順を見直し、改善に努めているか(隨時書面により当該改善事項を市に報告しているか)	B	要望が多かったチャイルドクッションを30個追加導入するなど、利用者からの要望に対応している。
	貸館利用実績や利用者数についての統計を取り、利用状況についての実態を把握し、稼働率向上などに努めているか	A	

事業計画	事業計画書の内容は適正なものとなっているか	B	提案のあった事業全てを実施し、自主事業のキャッシュレス決済の導入、商工会議所への加入も行われている等適正なものとなっている
専念義務	市の事前の承認を受けずに、施設又は管理業務を利用して当該業務以外の業務(自主事業を含む。)を行っていないか	B	
施設の名称使用	指定管理者として施設の名称を使用するときは、併せて自らの団体名及び代表者名を必ず表示するほか、当該施設を所有しているような誤解や弘前市と同一であるような誤解を利用者等に与えないようにしているか	B	
業務報告	管理業務の利用状況・実施状況等を記載した業務日誌が作成・保管されているか	B	
	毎月、業務日誌に基づいた業務報告書が作成され、市に報告されているか	B	
区分評価		B	—

【区分－2】施設の管理の実施状況

評価項目	評価の視点	評価	評価内容・特記事項
基本業務	以下の管理・保守点検業務が適切かつ確實に行われ、良好な施設環境が保たれているか(第三者委託業務を含む)	B	
	① 携帯電話圏外エリア管理賃貸借	B	
	② 大ホールの舞台機器操作業務	B	
	③ 館内外の安全確認等業務(警備)	B	
	④ 館内外の清掃業務(建築物環境衛生管理業務を含む)	B	
	⑤ 大ホール舞台の音響、照明、吊物各設備保守点検業務	B	
	⑥ ピアノ保守点検業務	B	
	⑦ 植栽管理業務	B	
	⑧ 冷暖房空調設備等運転管理業務	B	
	⑨ 消防用設備等保守点検業務(防火対象物点検業務を含む)	B	
	⑩ 中央監視システム保守点検業務	B	
	⑪ 熱源・空調設備保守点検業務	B	
	⑫ エレベーター保守点検業務	B	
	⑬ 段差解消機保守点検業務	B	
	⑭ 自動ドア保守点検業務	B	
	⑮ GHP・コーチェン設備保守点検業務	B	

	⑯ 自家発電設備保守点検業務 ⑰ 汚水槽点検業務 ⑱ 構内駐車スペース管理業務	B	
	利用者の安全確保に留意しているか	B	館内見回りを定期的に行っており、危険と判断される場所については、立ち入り制限を速やかに行っているほか、悪天候が想定される前には、設置物を撤去し、飛散防止に努めている。
	公園緑地課、博物館、再委託業者、自動販売機設置者、喫茶室などと、業務に際して適切な連携・連絡調整が図られているか	B	
	施設修繕は適切に行われているか	B	修繕対応箇所が判明した場合、速やかに業者に見積を徴取し、担当課へ報告をあげ、指示に従い適切に行われている。
	その他、施設・設備及び構内の維持管理が適切に実施されているか(落ち葉除去、積雪時の避難経路確保など)	B	ホールイベント実施後には特別清掃を実施するなど理良好な施設環境が保たれている。
第三者への委託の禁止	第三者に委託等している管理業務については、あらかじめ市の書面による承諾を得ているか	B	
個人情報の管理	個人情報の適正管理に関して個人情報の保護に関する法令等の趣旨にのっとり、管理業務の遂行に伴って個人情報を取り扱う場合には、情報漏えいの防止、第三者への情報提供及び目的外利用の禁止等、適正管理のための内部規定やチェック体制を構築するなど必要な措置を講じているか	B	
守秘義務	業務上知り得た秘密の漏えい防止のために必要な措置を講じているか	B	
文書等の管理	弘前市文書等管理規程に準じ、本施設の管理業務により作成又は取得した文書その他帳簿書類等を保管しているか	A	文書管理台帳が整備され、適切な保管がされている。
備品等の管理	市の所有に属する備品等については、「弘前市物品会計規則」及び関係例規に基づき、適正に管理を行っているか	B	
緊急時対策	緊急時対策、防犯・防災対策についてマニュアルを作成し、職員を指導しているか(マニュアルを市に報告しているか)	B	
消防訓練	消防計画を作成し、防火管理者を定め、消防訓練(年2回)を実施しているか	B	
災害対応	施設又は利用者に災害があった場合、迅速かつ適切な対応を行うと共に、速やかに市に報告し、その指示に従っているか	B	
区分評価		B	—

【区分ー3】 経理及び団体の財務状況

評価項目	評価の視点	評価	評価内容・特記事項
帳票等の整備	収支に関する帳票その他事業に係る記録を整備し、常に経理状況を明らかにしているか	B	
経理の区分	指定管理業務に係る経理とその他業務(法人等の固有業務)に係る経理が区分され、当該経費・収入は、専用の口座で管理されているか	B	
収支	事業の収支は適切か	B	自主事業よっては、収支バランスの良いとは言えないものもあるが、全体でバランスが取れている。
経費の削減	経費の削減に努めているか	B	
帳票等の保管	会計に関する帳簿及び関係書類を弘前市文書等管理規程の規定に準じて保存しているか	B	
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか	B	
区分評価		B	—

【区分ー4】 弘前市文化芸術振興計画の取組状況

評価項目	評価の視点	評価	評価内容・特記事項
計画目標の達成に向けた取組	当該計画の内容を十分把握し、市民会館の役割・期待されることとして、各施策目標の達成に向けた事業が実施されているか	B	
	当該計画に関わる各主体(地元文化団体等)との連携・協働が図られる事業が実施されているか	B	津軽塗、こぎん刺しなどのワークショップを実施するほか、ロビーコンサートなどを実施し、地元文化団体等と連携している。
区分評価		B	—

【区分ー5】 効果的な施設の管理運営と自主事業の実施状況

評価項目	評価の視点	評価	評価内容・特記事項
一流公演	これまでより一歩上を目指したプロの演者による質の高い公演等、一流の文化芸術にふれる事業が実施されているか	B	
情報発信	文化芸術に関する多様なイベントや団体の情報を集約し、市民の文化芸術活動を支援するため、さまざまな情報を提供する発信拠点としての機能が図られているか	B	

人材育成	子どもや若者を対象とした優れた舞台芸術の鑑賞や、施設体験イベントなど、後継者育成につなげる魅力的な事業が実施されているか	B	
施設の特性・品格	市民会館ならではの特性・品格に着目するなど、新たな利用者層の開拓と、リピーター増加につながる事業が実施されているか	B	前川國男研究第一人者によるWSや、佐野ぬい氏をテーマに市立博物館と連携したWSを行うなど特性を活かした事業を実施している。
付加価値の創出	積極的な営業活動及び広報活動などにより、施設自体の魅力を高め、利用の増加を促す付加価値の創出が図られる管理運営がなされているか	B	
区分評価	B	—	

【区分－6】 地域経済活性化への取組状況

評価項目	評価の視点	評価	評価内容・特記事項
地元活性化	市内の経済活性化や、地元団体の育成・技術継承が図られる事業が展開されているか	B	
市内雇用	自主事業を含む管理運営全般において、市内の業者や人材の雇用が配慮されているか	B	
区分評価	B	—	

【区分－7】 成果指標の達成度

評価項目	評価の視点	評価	評価内容・特記事項
大ホール	年間利用件数 <u>目標値:210件</u>	C	利用件数135件(達成比64.3%)と、令和5年度の利用件数158件に対し減少傾向にある。(昨対比85.4%)冷温水発生機の故障による夏季の利用率低下によるものと考えられる。
	年間来館者数 <u>目標値:105,000人</u>	C	来館者数は66,995人(達成比63.8%)と、令和5年度の来館者数71,363人に対し減少傾向にある。(昨対比93.9%)冷温水発生機の故障による夏季の利用率低下によるものと考えられる。
施設全体	自主事業実施件数 <u>目標値:7件</u>	A	目標値の倍以上の自主事業を行っている。(17件)
	自主事業参加者数 <u>目標値:5,000人</u>	B	令和6年度 実績 6,942人(達成比138.8%)
	利用者アンケートのサービス満足度に「よい」と回答した来場者の割合 <u>目標値:90%</u>	B	令和6年度 実績 92.3%
区分評価	B	—	

【区分－8】 その他

評価項目	評価の視点	評価	評価内容・特記事項
情報公開	弘前市情報公開条例の趣旨にのっとり、管理を行う公の施設に関する情報の開示及び情報の提供のために必要な措置を講じているか	B	
保険の付保	指定管理者が自主事業を行う場合は、その賠償資力を担保するため、指定管理者はそのリスクに対応するための保険に加入しているか	B	
重要事項の変更の届出	定款、事務所の所在地、代表者等の変更を行ったときは、遅滞なく市に届け出ているか	B	
環境配慮	市が実施する環境配慮に係る取組への協力要請に対して、可能な限りこれに協力しているか	B	
区分評価	B	—	

○評価のまとめ

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価の説明	評価	今後の課題と対応
【区分ー1】 施設の運営の実施状況	施設の設置目的を理解し、市民会館条例・管理運営規則等を遵守し、利用者の要望の把握に努めた他、担当課に報告・相談し情報共有を図りながら運営できた。	B	自主事業について、早めに事業計画を立てて申請します。条例・規則を遵守し施設の設置目的に添った管理運営に努めます。
【区分ー2】 施設の管理の実施状況	施設の修繕が必要な箇所については、迅速に市に報告するとともに、月次報告書にも記載し、担当課と協議し修繕を実施した。	B	施設の経年劣化が進んでおり、修繕の必要な箇所が見受けられます。
【区分ー3】 経理及び団体の財務状況	帳票等の整備、経理区分、経費削減、帳票等の保管については、適正に処理した。団体の財務状況については、良好である。	B	継続して経理の適正処理に努め、収支管理をおこないます。
【区分ー4】 弘前市文化芸術振興計画の取組状況	市民の主体的な文化活動を支え、弘前の優れた文化を次世代に引き継ぐことを目的に事業を進めた。また、地域の発信拠点として近隣施設に協力していただき、文化イベント開催情報の発信をしております。	A	市民団体がおこなう公演や文化芸術の催しなど、情報発信に努めます。
【区分ー5】 効果的な施設の管理運営と自主事業の実施状況	ひろさきトールツリーグループの代表団体であるケイミックスパブリックビジネス本社の文化事業企画室と市民会館職員が協働で事業を企画したこと、自主事業実施計画書で提案した17事業すべてを実施した。	B	市の文化振興に貢献すべく提案した17事業の開催に努めます。
【区分ー6】 地域経済活性化への取組状況	全国にファンを持っているアーティストの公演を実施したこと、県外からの来場者も多く弘前の観光業の活性化に繋がっている。	B	市民が優れた舞台芸術を鑑賞することはもちろんであるが、県外からの演者・来場者を呼び込み地域経済活性化に繋げます。

【区分ー7】 成果指標の達成度	大ホールの利用件数や来館者数については未達であったが、自主事業の実施件数は目標値を大幅に上回った。また、自主事業の参加者数や利用者アンケートも目標値を上回っており、まずはの成果であると認識している。	B	令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の5類感染症に位置づけられ制限が撤廃されたので、大ホールの利用件数・来館者数は目標値を目指します。
【区分ー8】 その他	保険の付保、重要事項の変更の届出は、適正に対応した。環境配慮については、市の要望に対応すべく措置をとった。	B	市が実施または要望する環境配慮に係る取り組みへは、可能な限り協力します。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価の説明	評価	今後の課題と対応
【区分ー1】 施設の運営の実施状況	協定書・募集要項・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できる。	B	
【区分ー2】 施設の管理の実施状況	協定書・募集要項・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できる。	B	
【区分ー3】 経理及び団体の財務状況	収支状況、経費の節減、帳簿等の保管状況については、概ね適正に実施していると判断できる。	B	一部支出過多の傾向がある。全体で見た際に収支バランスはとれているものの、今後注視することとし、適正な経理に努めていただく。
【区分ー4】 弘前市文化芸術振興計画の取組状況	協定書・募集要項・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できる。	B	
【区分ー5】 効果的な施設の管理運営と自主事業の実施状況	協定書・募集要項・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できる。	B	
【区分ー6】 地域経済活性化への取組状況	協定書・募集要項・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できる。	B	
【区分ー7】 成果指標の達成度	協定書・募集要項・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できる。	B	目標値を大きく上回る項目はあるものの、全ての項目の目標値を達成できるよう継続した努力をお願いする。
【区分ー8】 その他	協定書・募集要項・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できる。	B	

総合評価

B

【指定管理者に対する改善指示等の内容】